

## 目 次

読者からの手紙	……………(高橋 郁) ……	1
広 場 「JMLA 委員会 Part.3」	……………(青木 仕, 山崎美智子) ……	2
加盟館紹介 埼玉県立小児医療センター図書室	……………(高橋 成美) ……	6
東西南北 (ホームページ(HP)アドレス日本語表記が可能に, NIHパブリックアクセス法案法制化, 「雑誌記事索引・自然科学編」の遡及入力進む, NDL-OPACと近代デジタルライブラリーが連携, ゲノム関連論文の利用を自由化に (ほか)	…………… (ほか) ……	8
連載講座: Current Practice in Health Sciences Librarianship 「第4回 V7. Health sciences environment and librarianship in health sciences libraries」		
環境の変化と専門性: 医学図書館員がなすべきこと	……………(諏訪部直子) ……	12
論 文		
総合医学・内科誌インパクトファクター上位3誌の被引用回数と MEDLINE Publication Types の2002-4年調査	……………(三浦 誠) ……	17
事例報告		
SOAR (信州大学学術情報オンラインシステム) と医学部図書館の役割	……………(石坂 憲司) ……	24
新潟大学医歯学図書館の危機管理の現状	……………(大野フヂエ) ……	30
東邦大学医学メディアセンターホームページにおける診療ガイドライン情報の管理と運営	……………(岩田 智美) ……	34
日本医科大学図書館における電子ジャーナルの管理と提供: Serials Solutionsサービスを導入して	……………(村田 泰子) ……	40
岐阜大学医学図書館の移転と再開	……………(木村 晴茂) ……	46
エッセイ 『尋常小算術』(緑表紙)に見る我が国の衛生統計: 戦前の子どもの教科書が映す衛生事情 その一	……………(菅 修一, 辰野 直子, 藤村 三枝, 寺升 夕希) ……	50
報 告 「第24回医学情報サービス研究大会」を終えて	……………(喜多 芳明) ……	56
JMLA 助成金 事例報告		
医学図書館における Narrative Based Medicine (NBM) 資料の収集・提供の必要性 その2	……………(石井 保志) ……	60
JMLA 活動報告		
第9回図書館総合展: JMLA/JPLA フォーラム		
「新たなニーズに対応する図書館サービスとその経営」に参加して	……………(佐山 暁子) ……	64
第14回医学図書館研究会・継続教育コース報告	……………(渡辺 彰宏) ……	67
日本医学図書館協会近畿地区会/日本薬学図書館協議会近畿・中国・四国地区協議会/近畿病院図書室協議会共催シンポジウムに参加して	……………(藤田 絵美) ……	73
レファレンス事例集		
被引用数の調べ方	……………(石原 文) ……	76
年代が古く, かつ論題名のない論文	……………(塩原 則子) ……	77
サイエンスダイレクト Pay Per View 機能の利用における複数ユーザの使い分け	……………(中越 晴彦) ……	79
Book Reviews		
伝説の算数教科書 (緑表紙): 塩野直道の考えたこと (岩波科学ライブラリー; 135)	……………(櫻井 待子) ……	81
カルトの記憶	……………(菅 修一) ……	81
パブリッシュ・オア・ペリッシュ: 科学者の発表倫理	……………(大西 絵美) ……	82
学術情報流通とオープンアクセス	……………(小吉 百合) ……	82
ジャーナル・クラブ	……………	83
協会ニュース	……………	87
編集デスク 本誌英語誌名変更のお知らせ, 「医学図書館」54巻編集状況, 54巻4号の訂正	……………(大谷 裕) ……	89
「医学図書館」執筆規定 2008年3月改訂	……………	91